

令和4年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート（標準例）

1 評価対象施設の概要

施設名称	生駒市営自転車駐車場（生駒駅前自転車駐車場、生駒駅前第2自転車駐車場、生駒駅南自転車駐車場）			
所在地	駅前：元町1丁目461-1、駅前第2：元町2丁目229-4、駅南：山崎新町144-45			
指定管理者名	公益社団法人生駒市シルバー人材センター	指定期間	開始日	令和 3 年 4 月 1 日
利用料金制適用区分	利用料金制		終了日	令和 6 年 3 月 31 日
選定方法	非公募	評価実施年	指定期間 3 年のうち 2 年目	
設置目的	道路の効用の保持及び道路交通の円滑化を図り、あわせて自転車等利用者の利便に資するため			
主な実施事業等	自転車及び自動二輪車の一時利用及び定期利用（1ヶ月及び3ヶ月）			

2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
生駒駅前自転車駐車場	千円	10,200,000	6,579,220	108.86%	コロナ禍も収束し、令和3年度から利用者が回復している。令和4年度も引き続き少しづつ回復傾向にある。
生駒駅前第2自転車駐車場	千円		1,239,240	109.37%	
生駒駅南自転車駐車場	千円		3,324,650	118.42%	

3 事業収支

		事業計画	事業報告（実績）	（参考）前年度実績
収入計	A	10,201,000	11,143,126	9,984,091
指定管理料		0	0	0
利用料金収入	C	10,200,000	11,143,110	9,984,075
自主事業収入		0	0	0
その他		1,000	16	16
支出計	B	21,020,000	19,770,388	20,585,735
指定事業費		21,020,000	19,770,388	20,585,735
うち人件費	D	17,400,000	17,608,723	17,387,875
うち再委託料	E	0	0	0
自主事業費		0	0	0
事業収支	A-B	-10,819,000	-8,627,262	-10,601,644
利用料金比率	C/A	1.00	1.00	1.00
人件費比率	D/B	0.83	0.89	0.84
再委託費比率	E/B	0	0	0
補足説明（必要に応じて記入）				

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無	有	実施方法	利用者アンケート・意見箱の設置・その他（ ）
実施結果	意見内容等		対応実績等
	就業会員に対する「挨拶・声かけ」、「言葉遣い」等の直接的な接遇関しては、良い点として評価いただいている。しかしながら、相変わらず自転車駐車場の利用時間の延長拡大を希望される意見が多くありました。		就業者に結果を周知し、利用者ニーズを把握するとともに、改善できる点については解消できるよう努力している。

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）	
指定管理者による自己評価	生駒市の道路行政及び市民の通勤通学に大きな役割を果たしている自転車駐車場は無くしてはならないものである。利用者の利便性や満足度を高めることに注力し、接遇及びサービス向上に努めている。
市の評価	条例で定められた施設の設置目的（道路の効用の保持や道路交通の円滑化）を達成すべく、自転車等放置防止等指導業務とも連携して施設のスペースを有効に活用した管理運営がなされており、評価できるものです。
市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）	
指定管理者による自己評価	自転車及びバイクの区画を設けているが、区画が満車となった場合は空いている区画を活用し臨機応変に対応することにより、可能な限り駐車できるように配慮している。高齢者や障がい者には出入口付近に駐車できるようにしている。
市の評価	駐車状況に応じた現場ならではの臨機応変な対応がなされており、大変評価できるものです。また、駐車場所の配置が高齢者等の交通弱者に配慮されたものとなっており、現指定管理者ならではの心配りが感じられます。
利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）	
指定管理者による自己評価	利用者の声については就業者全員で共有しており、利用者ニーズを把握してもらっている。
市の評価	意見箱を設置し、利用者ニーズを把握されていることは評価できます。提供サービスのさらなる向上に向けて、苦情に対しても就業者全員で共有しあったうえで迅速に改善策を講じるなど、再発防止に努めてください。
経費の縮減等の効果（効率性）	
経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	自転車駐車場の収支は非常に厳しいものがあり、今年度も就業人員等の見直しを図り、経費削減に努めた。
市の評価	就業者の勤務体制等を精査による最低賃金が上昇する中での人件費の削減について、それぞれ継続的に取り組まれています。今後においても、引き続きこれらの取組を継続されるよう心がけてください。
収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	利用できる車種、利用料金が市条例で定められているため運営側で変更はできない。従って、利用者に気持ちよく使ってもらえるようにサービス向上に努めている。
市の評価	就業人員等の見直しを図り、経費削減に努められたことは評価できます。各自転車駐車場の立地や特徴に合わせて、たとえ少しずつでも収入が増加するような工夫・企画を期待するところです。
適正な施設の管理運営（適正性）	
施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）	
指定管理者による自己評価	1日3交代の就業としている。必要最低限の人員配置としている。その必要最低限の人員に対し、接遇研修を受講させてサービス向上を図った。
市の評価	従事場所や時間帯によって適正と考えられる人員配置がなされています。毎年、接遇研修を実施されているところですが、今後においては、接遇だけでなく業務に係る研修等も実施することによって、より従事者の能力・資質が向上することを期待するところです。
自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）	
指定管理者による自己評価	コインロッカーの設置や急な降雨に対する雨具の販売を新規取り組みとして行い利用者のサービス向上を行っている。
市の評価	ヒアリングでは、今後の安定的な収入源となるよう、次年度以降の新規施策の構想案を伺うことができました。このほかにも、利用者の増加につながるような工夫・企画を期待するところです。
安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）	
指定管理者による自己評価	事故等、緊急時には緊急連絡体制に基づき、通報・連絡を担当職員をはじめ、事務局一体的に対応します。また年2回、就業者に対して消火器の取扱い講習を行っている。

	市の評価
	事故発生時の通報・連絡体制も適切に構築されています。今後も支障が生じないように不断に見直すようにしてください。
サービスの安定的な提供（安定性）	
事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）	
	指定管理者による自己評価
	自転車駐車場の利用者の減少は当事業の大きな課題である。利用料金など市条例で定められていることもあり、利用者の減少は収入の減少に直結する。根本的な利用者を増やすことは難しい状況にある。
	市の評価
	就業会員に対する「挨拶・声かけ」、「言葉遣い」等の直接的な研修など、利用者の確保に努められていることは大変評価できます。利用者の増加につながるような工夫・企画を期待するところです。

## 6 指定管理者の財務の状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
資産	45,113,677	43,222,369	48,065,172
流動資産	39,840,606	38,316,840	43,784,125
固定資産	5,273,071	4,905,529	4,281,047
負債	16,171,899	15,286,495	15,219,930
流動負債	16,171,899	15,286,495	15,219,930
固定負債	0	0	0
純資産	28,941,778	27,935,874	32,845,242
資本金	0	0	0
売上高	207,125,209	208,781,552	215,011,566
経常利益	28,941,778	-1,672,087	4,909,368

## 7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
自己資本比率 純資産/資産×100	64.2%	64.6%	68.3%
負債比率 (流動負債+固定負債)/純資産×100	55.9%	54.7%	46.3%
固定比率 固定資産/純資産×100	18.2%	17.6%	13.0%
流動比率 流動資産/流動負債×100	246.4%	250.7%	287.7%
固定長期適合率 固定資産/(純資産+固定負債)×100	18.2%	17.6%	13.0%
総資産回転率 売上高/資産×100	459.1%	483.0%	447.3%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	64.2%	-3.9%	10.2%

## 8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価
新型コロナウイルス感染症も落ち着きを見せ、コロナ禍を脱した感があり、それに伴い自転車駐車場の利用者も少しずつ回復傾向にある。しかしながら、コロナ前の水準には及ばず、今後もコロナ前を超える利用は無いのではと想定している。また直近では新たな移動手段として電動キックボードに関する問い合わせ等もあることから、自転車やバイク以外の様々な乗り物への対応も必要になることから、就業者へ書面による周知や勉強会などを行い、利用者へのサービス向上に努めていく。
市の評価
区画の活用に関する臨機応変な対応等、利用の確保に配慮されていることは高く評価できます。利用者の個人情報や鍵のある事務室で適切に管理されているとともに、事故発生時の通報・連絡体制も適切に構築されています。今後も支障が出ないように不断に見直すようにしてください。